

## 作物統計調査

### 令和4年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量

— ももの収穫量は前年産に比べ9%増加、すもものは前年産並み —

#### 【調査結果の概要】

##### 1 もも

結果樹面積<sup>(注)</sup>は9,310haで、前年産並みとなった。

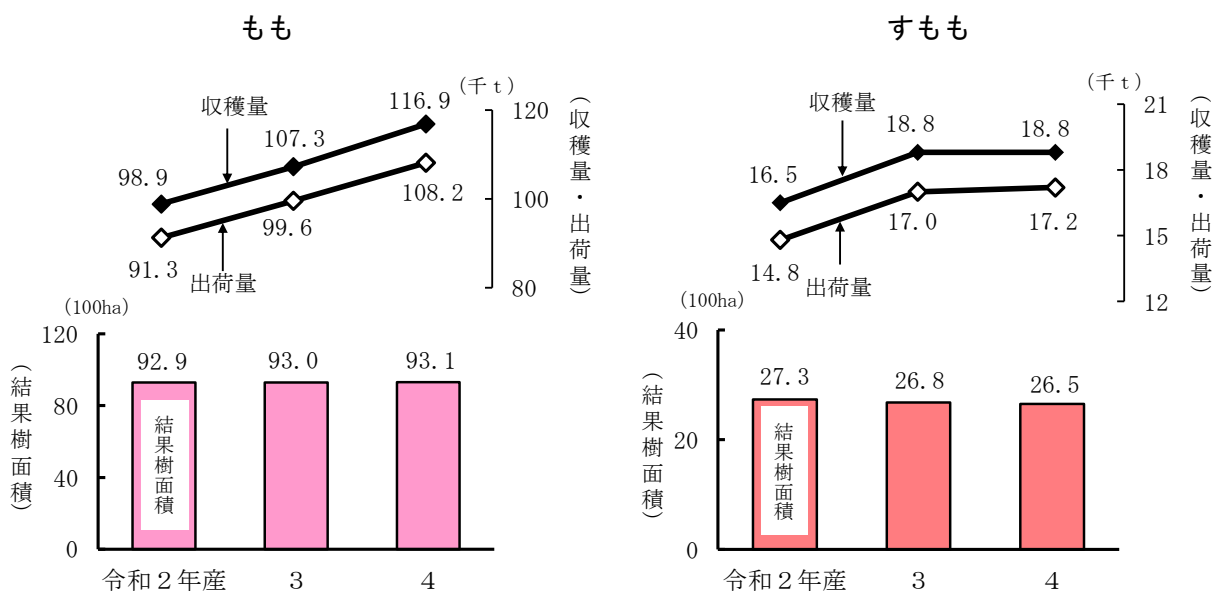
収穫量は11万6,900t、出荷量は10万8,200tで、前年産に比べそれぞれ9,600t(9%)、8,600t(9%)増加した。

##### 2 すもも

結果樹面積は2,650haで、前年産に比べ30ha(1%)減少した。

収穫量は1万8,800t、出荷量は1万7,200tで、収穫量は前年産並み、出荷量は前年産に比べ200t(1%)増加した。

図1 もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量(全国)



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結果させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y6](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y6) 】

## ◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適切な運営のための資料

## ◎ 累年データ

### 1 ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

### 2 すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

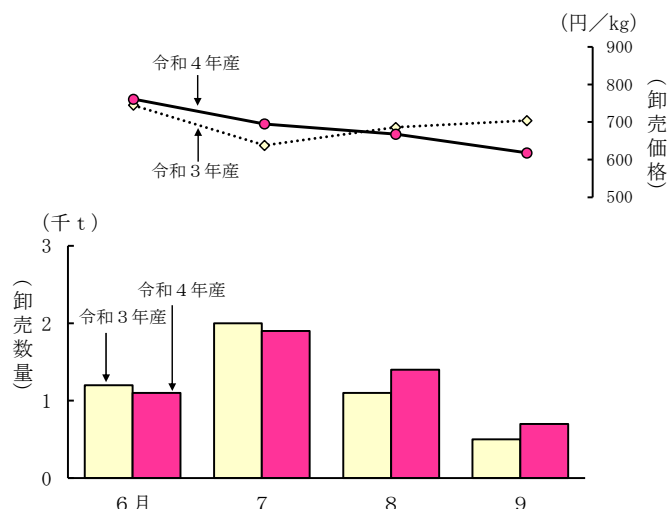
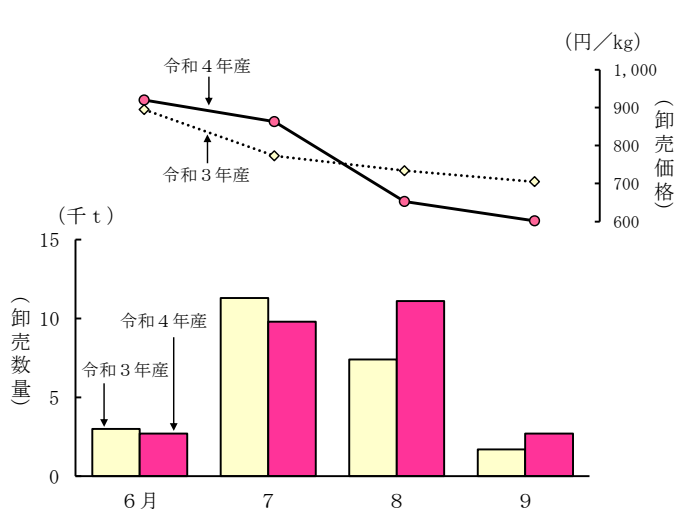
年 産	もも				すもも			
	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成 25 年産	9,890	1,260	124,700	114,100	2,940	741	21,800	18,900
26	9,850	1,390	137,000	125,400	2,900	769	22,300	19,600
27	9,690	1,260	121,900	111,400	2,880	740	21,300	18,600
28	9,710	1,310	127,300	116,600	2,840	810	23,000	20,100
29	9,700	1,290	124,900	115,100	2,810	698	19,600	17,100
30	9,680	1,170	113,200	104,400	2,780	831	23,100	20,400
令和 元	9,540	1,130	107,900	99,500	2,770	653	18,100	16,000
2	9,290	1,060	98,900	91,300	2,730	604	16,500	14,800
3	9,300	1,150	107,300	99,600	2,680	701	18,800	17,000
4（概数）	9,310	1,260	116,900	108,200	2,650	709	18,800	17,200

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

## ◎ 関連データ

### 1 ももの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）

### 2 すももの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」

注：1 日別調査は、青果物卸売市場が開設されている札幌市、仙台市、東京都、横浜市、金沢市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、高松市、北九州市、福岡市及び沖縄県に所在する主要な中央卸売市場の全ての卸売会社を対象とした調査である。

2 グラフは日別調査結果を月ごとに積み上げて算出したものである。

## 【調査結果】

### 1 もも

(1) 結果樹面積は9,310haで、前年産並みとなった。

(2) 10a当たり収量は1,260kgで、前年産を110kg(10%)上回った。

これは、福島県においておおむね天候に恵まれ順調に生育したこと等による。

(3) 収穫量は11万6,900t、出荷量は10万8,200tで、前年産に比べそれぞれ9,600t(9%)、8,600t(9%)増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山梨県が31%、福島県が24%、長野県が10%、山形県が8%、和歌山県が7%となっており、この5県で全国の8割を占めている。

図2 ももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移(全国)

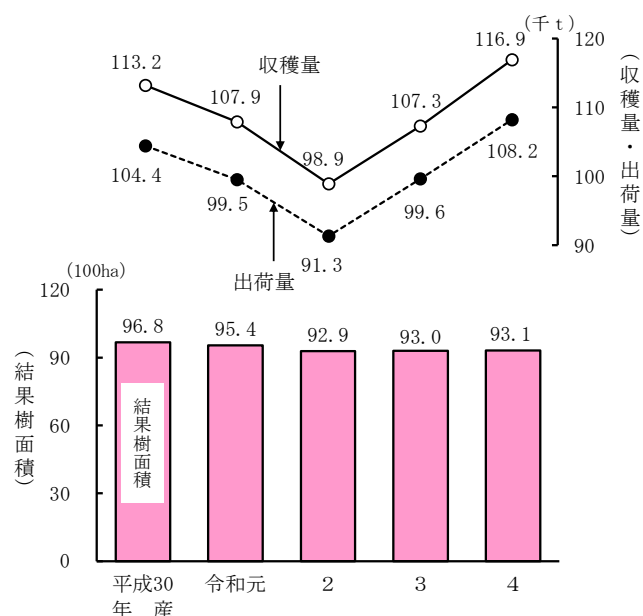
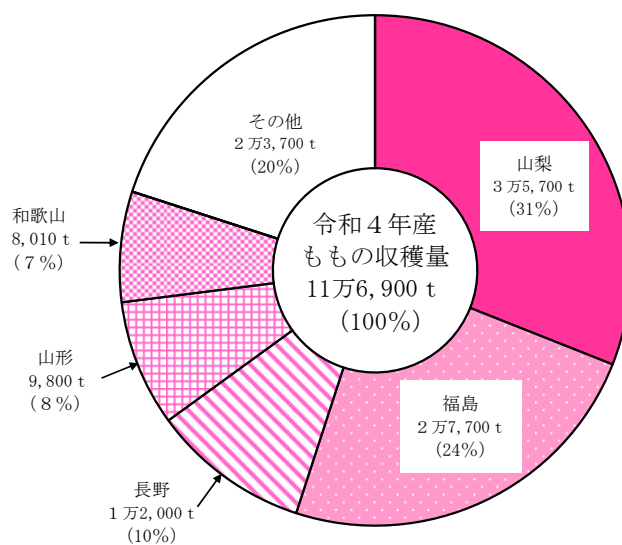


図3 ももの都道府県別収穫量



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある(以下、図5において同じ。)

表1 令和4年産ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量(全国)

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
もも	9,310	1,260	116,900	108,200	100	110	109	109

## 2 すもも

- (1) 結果樹面積は2,650haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。
- (2) 10a当たり収量は709kgで、前年産を8kg（1%）上回った。
- (3) 収穫量は1万8,800t、出荷量は1万7,200tで、収穫量は前年並み、出荷量は前年産に比べ200t（1%）増加した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、山梨県が32%、長野県が16%、山形県が11%、和歌山県が9%、青森県が5%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図4 すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

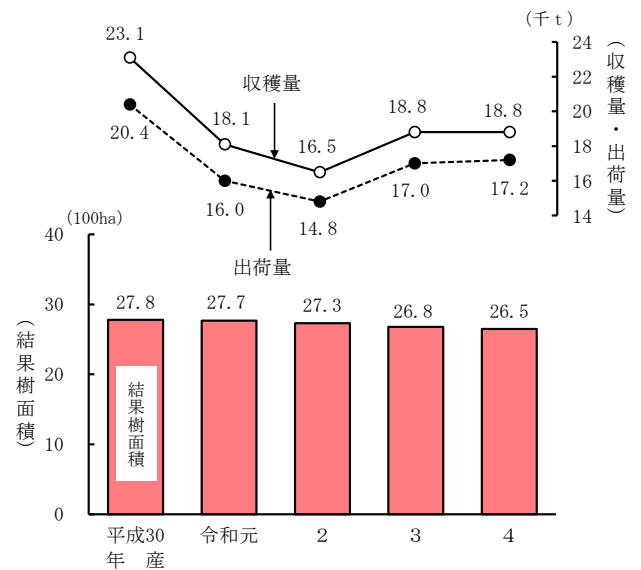


図5 すももの都道府県別収穫量

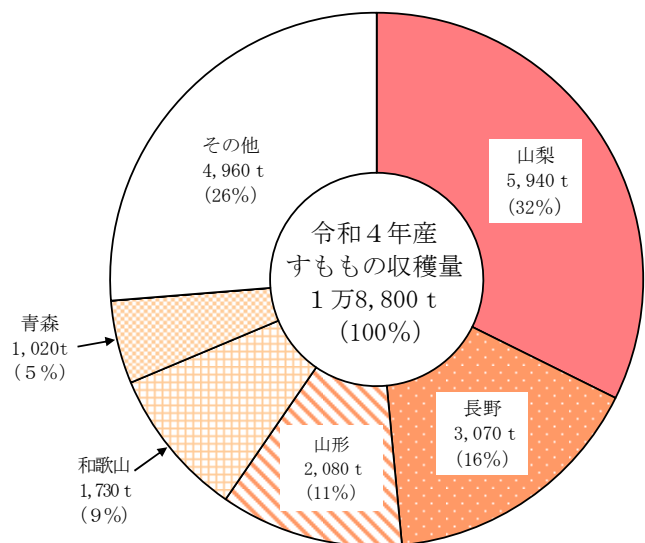


表2 令和4年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
すもも	2,650	709	18,800	17,200	99	101	100	101

## 【統計表】

### 1 令和4年産ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	9,310	1,260	116,900	108,200	100	110	109	109
うち 青 森	140	1,120	1,570	1,400	102	99	101	101
山 形	632	1,550	9,800	8,970	100	110	110	110
福 島	1,550	1,790	27,700	25,700	101	113	114	114
新 潟	208	913	1,900	1,680	99	117	117	117
山 梨	3,100	1,150	35,700	33,700	100	103	103	102
長 野	939	1,280	12,000	11,400	100	113	113	115
岐 阜	64	951	609	557	98	99	98	98
和 歌 山	703	1,140	8,010	7,340	100	110	110	110
岡 山	633	1,040	6,580	5,880	100	117	117	117
香 川	151	548	827	701	96	95	92	92
愛 媛	66	602	397	345	96	104	100	102

注： 本年産は、令和2年（全国調査年）の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及又は果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の調査結果を基に推計した（以下同じ。）。

### 2 令和4年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	2,650	709	18,800	17,200	99	101	100	101
うち 北 海 道	126	714	900	888	100	119	119	120
青 森	108	944	1,020	939	100	116	116	118
山 形	248	837	2,080	1,840	99	123	122	123
福 島	135	569	768	656	97	109	105	106
山 梨	787	755	5,940	5,590	100	89	89	91
長 野	348	881	3,070	2,880	96	123	119	120
和 歌 山	282	615	1,730	1,580	98	83	81	81
大 分	65	537	349	294	100	88	88	88
鹿 児 島	62	215	133	114	98	95	93	96

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の収穫量調査として実施したものであり、果樹の生産に関する実態を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証、農業保険法に基づく果樹共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の対象

#### (1) 調査の範囲

令和4年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では令和2年産）、全国調査年以外の年においては、調査対象品目ごとに、面積調査の直近の全国調査年（令和2年）の調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県又は果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

#### (2) 調査対象者の選定

##### ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

##### イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2020年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し関係団体以外に出荷した農林業経営体から、品目別の栽培面積の大きさに比例した確率比例抽出法により抽出を行った。

標本の大きさ（標本経営体数）については、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象品目の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して設定した10a当たり収量に関する都道府県別の目標精度（3～15%）を基に、団体シェアの割合等も考慮し、必要な標本経営体数を算出した。

#### (3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回答数 ②	有効回答率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回答数 ⑦	有効回答率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
もも	140	139	99.3	8,678	599	6.9	426	71.1
すもも	82	76	92.7	2,352	551	23.4	364	66.1

注：「有効回答数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回答はあったが、当年産において栽培がなかった標本経営体等は含まれていない。

### 3 調査事項

#### (1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

#### (2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与の量」

### 4 調査期日

収穫期

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
もも	令和4年7月～8月
すもも	令和4年6月～8月

## 5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

## 6 集計方法

### (1) 都道府県値

- ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見取り及び職員による情報収集により補完している。
- イ 収穫量の集計は、関係団体調査結果及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。
- ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

### (2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った令和2年産の調査結果及び令和4年の果樹及び茶栽培面積の調査結果に基づき、次により推計した。

#### ア 結果樹面積

$$\text{全国値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省統計部が令和4年10月に公表した「令和4年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

#### イ 収穫量及び出荷量

$$\text{全国値} = \frac{\text{令和2年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{令和2年産の主産県値}}$$

## 7 実績精度

本調査結果（主産県計）の10a当たり収量を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
も も	1.9
す も も	2.7

## 8 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結果させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

## 9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和4年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

## 10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和5年12月予定）する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】  
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y6](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y6) 】

## 【関連リンク】

果樹栽培面積のページ: 農林水産省 > 統計情報 > 分野別分類/作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など > 作物統計 > 面積調査 > 果樹及び茶栽培面積  
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/index.html#y4>

果樹関係ページ: 農林水産省 > 組織別から探す > 農産局 > 園芸作物(野菜・果樹・花き) > 果樹のページ  
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針: 農林水産省 > 組織別から探す > 農産局 > 園芸作物(野菜・果樹・花き) > 果樹のページ > 果樹施策の概要  
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 園芸統計班  
電話：(代表) 03-3502-8111 内線 3680  
(直通) 03-6744-2044  
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について  
農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：(代表) 03-3502-8111 内線 3589  
(直通) 03-6744-2037  
FAX： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)  
<https://www.e-stat.go.jp/>